

開講専攻	授 業 科 目	担 当 教 員	必修 選択 の別	単位数
全専攻 ----- 1 Semester 水・3	生体機能学	高井 良尋 ほか	必修	1
授業題目	生体の働くメカニズムを理解する。			
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p>人体は多くの器官で構成されており、無数とも言える機能を備えている。これら諸器官の機能はどのように発現し調節されるのか、さらに器官の総体である人体がどのように内部環境（体内環境）を保持し、外環境に適応するのかを解説する。</p> <p>人体に日常的におきていることを生理学という科学の目で眺め、科学の言葉で考える基礎を築くことを目標とする。</p>				
授業計画				
回数	講義	内容	講師	
1	体液系	体液区分	高橋 和広	
2	体液系	細胞の生活環境	高橋 和広	
3	体液系	体液組成	高橋 和広	
4	循環器系	循環器系の調和	三浦 昌人	
5	循環器系	肺循環，各種器官の血流配分	三浦 昌人	
6	循環器系	循環器系の構成と機能的区分	三浦 昌人	
7	呼吸器系	呼吸器系の構成，呼吸の仕組み	進藤 千代彦	
8	呼吸器系	肺気量，ガス組成，ガス交換，ガス運搬	進藤 千代彦	
9	呼吸器系	呼吸運動の調節，呼吸とpH	進藤 千代彦	
10	消化器系	消化器系の構成と役割一般	小林 光樹	
11	消化器系	消化液分泌と消化過程，吸収	小林 光樹	
12	消化器系	消化管運動，排便の神経機序	小林 光樹	
13	泌尿器系	泌尿器系の構造と役割一般	大高 徹也	
14	泌尿器系	機能調節，体液浸透圧調節，体液量調節	大高 徹也	
15	内分泌系	内分泌系概略	大高 徹也	
成績評価の方法及び基準				
期末試験				
教科書・参考書				
解剖生理学（標準看護学講座2、金原出版）				